

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06370	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	超小型衛星の多目的実用化時代に向けたオールラウンド超小型宇宙推進系の実現	研究代表者 (所属・職) (平成31年3月現在)	小泉 宏之 (東京大学・大学院新領域創成科学研究科・准教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、革新的な軽量／安全な超小型推進系の実現を目指すために、推進剤に「水」を利用したイオンスラスタ／レジストジェット／ハイブリッドスラスタを統合させた超小型オールラウンド推進系を開発し、本推進系を搭載した6UキューブサットEMを完成させることを目的としている。</p> <p>これまでに、水イオンスラスタ実験においてマイクロ波周波数依存性と壁面転移依存性を明らかにし、さらにプラズマ源やイオンビームの数値解析において、新たな現象の解明などの研究成果を着実に上げている。水レジストジェットスラスタに関しては、宇宙飛行機会の獲得によりシステムレベルの検討及び検証においては優れた研究成果が得られている。</p>		